

# 異文化と 心通わせ

58

村田 佳子



由内から東京や他の地  
域の大学へ入学したお子  
さん、お孫さんがいる方  
もいらっしゃると思います。  
10月は多くの大学3年生にとって就職活動の準備に入る時期のようです。私の時代は分厚い就職活動用雑誌があり資料請求にはがきを出したのですが、今はインターネットで「エントリー」するのが一般的と聞きました。

先日、都内の私立大学英文科に通う3年生からこんな相談がありました。「子供のころから英語が好きなので海外の文化と接する仕事がしたいんですけど」とおっしゃるのです。会社や団体にはOB、OGがいて、どんな風に連絡をとっているのか、そもそも海外と接する仕事と言ってもどんなものがあるのかわからなくて」。今は、情報はあふれてるけれど、本当に欲しい情報にたどり着くには自分で動かなければいけないんだなあと私はあらためて思いました。

海外と接する仕事はいろいろあるでしょう。少なくとも私が携わって来た国際協力の分野は、シンボジウムなどのイベントが開催されているので、そういうった場所では同じ

# 海外の文化と接する仕事って？

のある方が多い  
と思ひます。海外  
の文化と接す  
る仕事といつて  
も、意外に身近  
な会社が中国やベトナム、  
タイなど、部品の取引を  
している場合もあるでし  
ょう。東京などで大企業  
に行けば、海外事業部に  
配属される確率は低いか  
もしれませんが、規模が  
違えば海外と接する仕事  
をさせてもらひえるチャン  
スは高くなるかもしま

化と接する仕事って?  
供のころから、  
ご両親の勧めで  
英語に触れる機  
会があったり、  
海外から来られ  
たALT(外国  
語指導助手)の  
先生のおかげで  
外国文化に親し  
んだりした経験

お出でになつた方の御用事は、お手伝いする  
のは関係機関のスタッフ  
ですから、働く環境を見  
るところがでかい感じしちゃう。  
興味があれば、まずはそこの  
へ足を運ぶ  
のはどうかと提案してみ  
ました。

好きでやる気のある学生を求めている会社が身近にあるかもしれません。求めている情報が届いて会社、学生の双方にっこりとして出合ふがあるといふことはないと思ふ。相談を受けた学生と駅で別れ帰宅すると、一通の手紙が届いてしまった。10年以上前、私が初めて就職した会社の上司からでした。結婚を祝う優しい言葉と共に便せん4枚にわたりて近況が書かれ、ありました。忙しい中、ペンを取つて切手を張り、投函してくれたのだと思ふ。うと感激しました。そして当時のことを思い出して当時のことと思ふました。

彼女はいつも部下である私が何の心配もなく慣れない業務に集中できる環境を整えてくれました。思ひ返せば彼女自身知らない土地に嫁げました。今朝、会社に行つた。会社の環境の変化で大変だったはずなのに、そういうそぶりは全く見せずいつも笑顔で仕事をしていました。そして社会人として大切なことをたくさん見てくつされました。その後別の仕事に就いてからもことあるごとに当時教わった言葉を思い出したりがありました。

その上司との出会いがあつた会社の入社試験は、よく縁があるのかよ興味深いものでした。一つ一つが、